



『かわたびほっかいどう』プロジェクト 川を楽しみつくそう

国土交通省北海道開発局建設部河川計画課

1 はじめに

平成28年3月に閣議決定された「第8期北海道総合開発計画」では、「食」と「観光」を北海道の戦略的産業として、世界を意識しながら更なる振興を図り「世界水準の観光地」を目指しています。

河川空間においては、これまで環境整備事業等により親水環境の整備を行って参りましたが、平成21年に「かわまちづくり支援制度」が発足して10年目の現在、北海道内で18箇所（北海道開発局が管理する河川では11箇所）において登録され、ますます水辺を活用した空間の整備、街と川が一体となった整備が進められてきました。

2 「かわたびほっかいどう」プロジェクトの取り組み

「かわたびほっかいどう」プロジェクトは、上記の環境整備事業で整備された河川空間はもとより、四季折々の川の自然環境や景観、水辺活動やサイクリング環境など、河川空間が有するポテンシャルを活用したツーリズムの推進を図ることを目的としています。具体的には、様々な川に関する情報を効果的に発信し住民や観光客の水辺利用や周遊のサポート、各地域・各分野の関係者間のネットワーク強化による水辺利活用に係るニーズの発掘・マッチングの促進、地域と連携した魅力的な水辺空間の創出などにより、地域づくり・観光振興に貢献する取り組みを全道的に推進しています。

本稿では、現在進められているプロジェクトの取り組みの一部について紹介いたします。



「かわたびほっかいどう」開発局の担当スタッフ
(左から、米元 光明、廣川 まどか、天羽 淳)



図1 青い池（美瑛町）

3 サイクルツーリズム

美瑛町は、世界的に有名となった白金地区に隣接する「青い池」（図1）には春から秋にかけて大勢の観光客が訪れており、また、美瑛川沿いは時に青く見える美瑛川と十勝岳連峰の美しい山並みが望めることから、新たな観光資源として期待されています。

平成26年3月、美瑛川の河川空間をサイクリングなどで活用して地域活性化を図ることを目的とした「美瑛川地区かわまちづくり」計画を策定し、道道にほぼ平行して流れる美瑛川を、美瑛市街地と白金温泉地区をサイクリングなどで結びつけるアクセス路として位置づけ、市街部周辺の丘から白金地区への観光客の誘導を行うほか、美瑛川自体も新たな景観資源として位置づけることとしました（図2）。

現在は、北海道各地や地元のサイクリスト、美瑛川沿川の飲食店経営者などから意見を聞くためのワーキンググループを開催し、地域と連携した効果的な活用に向けた取り組みについて検討を進めています。堤内側の河川区域に余裕がある箇所を活用して国が盛土を



図2 美瑛川の堤防を活用した親子体験試走会の状況

実施し、町が多目的スペースとして活用するための施設を整備。サイクリング中の休憩所などのほか、各種イベント等に活用する計画です（図3）。また、サイクリストを美瑛川沿いのサイクリングコースから美瑛川と並行する道道沿いのレストランやカフェ、農産物直売所へ呼び込むためのアクセス路を美瑛町が整備し、これらの利用を促進することによる地域活性化の取り組みを目指しています。



図3 多目的スペース整備イメージ

同様の取り組みは各地で行われています。名寄川地区では地元サイクリスト、観光関係者、観光施設や宿泊施設担当者などから意見を聞くためワーキンググループを開催し、WGメンバー等による「現地試走会」（図4）を3回実施、「勉強会・意見交換会」やWGも2回開催し、必要な整備内容、地域との連携・PR方法に関する検討などを行っています。



図4 関係者による現地試走状況（第1回～第3回）（名寄市）



図5 石狩川流域圏ルート走行会の様子

また、北海道サイクルツーリズム推進検討委員会のモデルルートである「石狩川流域圏ルート」を活用した取り組みなど（図5）、全道の河川空間を活用した取り組みが続々と進められています。

4 ダムツーリズム

ダムを有効活用して地域の特徴あるものづくりを支援する取り組みです。豊平峡ダムの作業用トンネルを貯蔵施設として活用可能かを検討するため、民間企業と連携し、ワイン・日本茶葉の貯蔵実験を行っています（平成27年3月30日から5カ年計画）。平成27年度から貯蔵したワインの官能試験や新茶の試飲会を公開し、平成31年度まで貯蔵による効果を検証することとしています。あわせて、定山溪観光協会と旅行会社の企画により、ダム貯蔵ワインを飲みながらの星空観察ツアーなどを実施しています。他にも、定山溪ダムでの日本茶、日本酒、ワインの貯蔵実験や留萌ダムでの日本酒の貯蔵実験など様々な取り組みがすすめられており、今後益々の観光客増加や商品の付加価値向上が期待されています。



図6 ダム建設中に掘られた長さ約50mのトンネルに貯蔵（豊平峡ダム。札幌市南区）



図7 シニアソムリエによる官能試験で「トンネルで熟成させたものは、落ち着いた感じの熟成感があり、5年後、10年後にどれだけ美味しくなっているか楽しみ。」と高い評価

参加者募集中

星空ガイドとトンネル熟成ワイン

豊平峡ダム & 星空プレミアムカフェ

6/23・30・7/7・14 限定オープン

バスツアー
真駒内発着 4,900円
定山温泉発着 4,200円

豊平峡ダムとは
北海道最大のダムで、トンネル熟成ワインの産地です。

トンネル熟成ワイン
「トンネル熟成ワイン」は、トンネルの中で熟成されたワインです。

知る人ぞ知る、星空観覧スポット・豊平峡ダム。期間限定で夜間開放します！星空の下、地元ワインを楽しむプレミアムカフェの開催です。星空ガイドと、豊平峡ダムとトンネル熟成ワインの魅力を堪能してください。

2017年 6月23日(金)・30日(金)・7月7日(金)・14日(金) [各1回限]

参加費 大人 2,900円 小学生以下 1,900円	参加費 大人 2,900円 小学生以下 1,900円
定山温泉発着 4,200円 真駒内発着 4,900円	定山温泉発着 4,200円 真駒内発着 4,900円

豊平峡ダム
TEL: 011-271-7924

図8 JTБ:星空プレミアムカフェ (H29.6.23、6.30、7.7、7.14)

5 各種イベント

① サッポロ★カワミ～札幌からはじめる新たな風物詩“川見”～

水辺の賑わいを創出する取り組み「ミズベリング」の一環として、豊平川の水辺で飲食や催事を楽しむイベントを実施しています。都市と川辺の自然が調和した札幌から、川見（かわみ）＝夏の夕暮れ、川辺でゆったりとした時間を過ごすという新しい言葉を発信して広がっていこうという取り組みです。平成29年に札幌青



図9 イルミネーションで彩られた幌平橋、点灯式には約1,500名が来場（札幌市中央区）

年会議所主催により始まったこの取り組みは、平成30年には札幌河川事務所と連携し「かわたびプロジェクト」としてコラボレーション（図9、図10）。令和元年の今年は「僕らの清流音楽祭」をテーマに、例年より1日多い3日間の開催となり（8月2日～4日）、音楽ステージやダンスコンテストなどが行われました。



図10 豊平川河川敷に集い、憩う人々

② CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2018

水辺の賑わいを創出する取り組みとして、千歳青年会議所が2014年から主催している、千歳川の水辺で音楽と飲食を楽しむイベントです。市内外のミュージシャン、学生吹奏楽部によるジャズ・ポップスなどの音楽ライブ、オープンカフェを設置し、フード、スイーツなど約20店舗の物販ブースを展開（図11）。また、ラフティング体験などの水辺に親しめるプログラムや千歳川テラス写真投稿キャンペーン等を実施しています。千歳川のせせらぎを間近で感じることができる、千歳川に張り出した「川床（かわとこ）」も大好評のイベントです（図12）。

6 おわりに

『かわたびほっかいどう』プロジェクトは、「かわまちづくり」を発展的に活用した取り組みのほか、ダムなどのインフラストックを活用したもの、北海道サイクルツーリズム推進検討委員会との連携や、地域の方々と連携した各種イベントの取り組み、旅のモデルルート の提案など全道各地で多岐にわたって展開しています。またこれらの情報と共に河川に関する様々な風景、見所、イベント情報等を「かわたびほっかいどうHP」にて情報発信しています（図13）。

今後も北海道開発局では、河川を活用した地域振興、交流人口の増加による賑わいの創出を目指し、『かわたびほっかいどう』プロジェクトを力強く推進します。



図12 川床「千歳川テラス」を実施。清流の景色と涼風が好評



図13 かわたびほっかいどうHP。各種情報を集約するとともに、SNS等を活用した関連情報を発信!



図11 大勢の人で賑わう物販ブース（千歳市）